

授業科目名(英文名)bbb / Course title	経営学特論			
担当教員(所属) / Instructor	馬 駿(経済学部経営学科)			
授業科目区分 / Category	専門教育科目 グローバルSDGs専門科目			
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目	
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第1ターム / Term 1 火/Tue 3	対象所属 / Eligible Faculty	持続可能社会創成学環(修士課程) 持続可能社会創成学環(修士課程) グローバルSDGsプログラム / Graduate School of Sustainability Studies Graduate School of Sustainability Studies Graduate Program in Global Sustainability Science	
時間割コード / Registration Code	D43305	対象学年 / Eligible grade	1年	単位数 / Credits 1単位
ナンバリングコード / Numbering Code				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	馬 駿(majun@eco.u-toyama.ac.jp)			
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	馬 駿(毎週月曜日10:30~12:00、なお事前にメールにてアポイントメントをとってから研究室に来てください。 Monday, 10:30~12:00 Please make an appointment by email before coming to the office.)			
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code				
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor				
MoodleコースURL / Moodle course URL				
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1				
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2				
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3				
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4				
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5				
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日			
初回はこの授業のガイダンスを行います。				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals			
<p>経営学は、常に変化する外部環境において、企業が如何にモノ、カネ、ヒトや情報という経営資源を活用して経営目標を実現するかについて検討する実践的な学問です。</p> <p>ある企業が成功したからといって、それを真似すれば他の企業も成功できると限らないことはよく言われているが、多くの人々はその理由について深く分析することができないのは、経営学の論理性について深く理解していないからです。</p> <p>この授業では、企業の戦略と組織マネジメントに関する理論だけではなく、ケーススタディを通して、経営に関わる様々な要素間の関係性について論理的に理解したうえで、企業の持続的成長を実現するために、如何に戦略を策定し、組織をデザインするかを検討することを目的とします。</p>				
達成目標 / Course Goals				
<p>以下の3つのことを正しく理解することを目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業戦略と組織マネジメントに関する基本理論 2. 戦略と組織の関係性 3. 企業の持続的成長と組織能力の形成 				
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule				

<p>この授業は講義方式とディスカッション方式を交替して行います。前半は、経営戦略に関する理論、後半は組織マネジメントに関する理論を学習する。授業では、毎回1つのテーマを取り上げ、まず講義を行い、その後、ディスカッションを通して理解を深めます。具体的には以下の通りで進めていく予定です。</p> <p>第1回 市場と企業の関係 第2回 ケーススタディ(1) 第3回 市場競争と企業戦略 第4回 ケーススタディ(2) 第5回 組織構造 第6回 ケーススタディ(3) 第7回 戦略と組織構造との関係 第8回 ケーススタディ(4)</p>	
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class	
<p>事前に指定、または配付する講義用の資料を読むことを授業への参加条件とし、また数回のレポートを課します。レポートを提出しない場合、授業への参加を許可しないこともあります。(なお、事前学習は3時間、授業後の学習は4時間を確保すること)</p>	
キーワード / Keywords	企業戦略、組織の経済学、組織構造、組織能力、取引関係、知識創造、イノベーション、インセンティブ、コーディネーション
履修上の注意 / Notices	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の欠席を極力避けること。 2. 事前に、授業内容を予習しておくこと。 3. ディスカッションに積極的に参加すること。
教科書 / Required Text	
参考書 / Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	参考図書： (1) David Besanko, etc., Economics of Strategy, 7 Edition, Wiley Custom, 2017 (奥村昭博・大林厚臣訳『戦略の経済学』(原書第2版の翻訳版),ダイヤモンド社, 2002) (2) 江口匡太著『キャリア・リスクの経済学』生産性出版, 2010年。 (3) Paul Milgrom and John Roberts, Economics, Organization & Management, Prentice hall, Inc., 1992. (日本語訳:『組織の経済学』奥野正寛・伊藤秀史・今井晴雄・西村理・八木甫訳, NTT出版, 1997年)。 (4) 藤本隆宏・新宅純二郎編著『日本のものづくりの底力』東洋経済新報社,
成績評価の方法 / Evaluation	<p>講義での発言頻度とディスカッションへの貢献度(50%) + 授業中のレポート(50%)、但し、無断欠席1回で不可になることがある。</p> <p>なお、レポートについて以下の基準で評価する。 課した課題を正しく理解すること 課題に関する既存の学説等について正しく説明すること 課題について自分の考えを論理的に展開すること。 事例やデータを用いて正しい方法で自分の考えを検証すること。</p>
関連科目 / Related course	ミクロ経済学、経営組織特論
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's	学修方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
第1回	市場と組織の関係	市場と組織の関係について解説	
第2回	経済学の視点から見る組織	組織におけるコーディネーションとインセンティブ機能について解説	
第3回	経営学の視点から見る組織	戦略と組織の関係について解説	レポートの提出あり
第4回	人事制度	人事制度の役割と基本的な考え方について解説	
第5回	人的資本理論	人的資本理論の基本的考えと応用について解説	
第6回	企業内の能力開発	内部労働市場と能力開発との関係について解説	レポートの提出あり
第7回	人事評価	人事評価の意味と仕方について解説	
第8回	採用戦略	人材の採用の仕組みについて解説	
第9回	インセンティブシステム(1)	昇進の仕組みについて解説	
第10回	インセンティブシステム(2)	報酬システムについて解説	レポートの提出あり
第11回	人材マネジメントの国際比較	人材マネジメントの国際化と国際比較	
第12回	研究発表	これまでの講義内容をふまえ、自分の関心を持っているテーマを1つ選んで、レポートを作成したうえ報告し、参加者全体のディスカッションを行う	
第13回	研究発表	これまでの講義内容をふまえ、自分の関心を持っているテーマを1つ選んで、レポートを作成したうえ報告し、参加者全体のディスカッションを行う	
第14回	研究発表	これまでの講義内容をふまえ、自分の関心を持っているテーマを1つ選んで、レポートを作成したうえ報告し、参加者全体のディスカッションを行う	
第15回	総括	全体ディスカッションを行う	

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語, English
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施あり
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	ケース・スタディ Case Study
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	
データサイエンス科目 / Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	履修可 registrable